

## 冬休みを迎えるにあたって(校長より)

先日 12 月 11 日、昼休みの時間を利用して絵本の『読み聞かせ』が行われました。当日は 60 名近い生徒が図書室に集まり「百万回生きたねこ」というお話を聞きました。昼休みの時間設定だったので集まる時間もバラバラになってしまい、話が途中からになってしまったり、座席が後ろの方で絵が見えにくかったりと、とても良いお話ではありましたが、本の内容が分からなかつたという人もいたようです。

そのような状況であったにも関わらず、10 分程の『読み聞かせ』が終わった時には、大きな拍手があり、「ありがとうございました」とお礼を言っている人も多くいました。ごくごく当たり前の事であるとは思いますが、『読み聞かせ』のボランティアの方からは、「風邪のせいで聞き苦しいところもあったはずなのに、あんなに大きな拍手をもらい気持ちよく終わらせてもらいました」とたいへん喜んでおられました。

途中からの参加で話がよく分からなかつた人も、後ろの方で絵がよく見えなかつた人も、ボランティアの方に、梅中に来ていただいたこと(「また来てくださいね」の意味も込めて)に対して、大きな拍手で感謝を伝えたと思いました。多くの梅南中学校の生徒が“相手の気持ちを考えられる優しさ”を持ち、態度で表すことができることを実感した一瞬ありました。

全校集会の生徒会役員からのお話や委員会からの報告後にある拍手は、「ご苦労さま！」や「報告ありがとう！」「(緊張せずに落ち着いて)がんばれ～！」など、色々な意味が含まれたあたたかい拍手であるように思います。

振り返ると、現在高 1 学年の先輩が「修学旅行」から帰校し、生徒代表が最後に挨拶をし終わった時に自然と拍手が沸き起こったあたりから、拍手を送るということが梅南では当たり前になっているようで、これからも良いことは続けていけたらと考えています。

1・2 学期同様、3 学期からも、“みんなが安心して何でも言い合える雰囲気の学校”を、みんなの力(ちから)で作っていきましょう！

冬休みを迎えるにあたり、1 点注意をしておきます。今年 10 月、住之江区の一般道路にコンクリート製のブロック置かれてあり、バイクが衝突・転倒し、命を失うという事故が発生しました。その後、コンクリートを置いたのが中学生であったことが分かり、新聞・ニュースなどで大きく報道されました。新聞記事によると、中学生は「事故が起つて騒ぎになることは分かっていたが、まさか人の命をうばうことになるとは思わなかつた」とのことでした。

このような悪質ないたずらが、人の命をうばう取り返しのつかないことにつながってしまうことを知り、悪ふざけ・行き過ぎた行動には十分に注意をするようにしてください。

「みなさん、良いお年を！」